

新しい時代の要請へむけて

9月4日（木）総務部長が来所しました



7月18日に着任いたしました総務部長の栗島です。東北地方の勤務は初めてですが、河川局におった頃、昭和63年にこの三春ダムを訪れた事

を今思い出したところであります。ダムが立派に出来あがり、地域の中核として地域に貢献しているという様子をうかがいまして、大変感銘をうけております。

最近、国土交通省をめぐって色々な課題や、新しい時代の要請のようなものがあると思います。その中で最も大きい事というのは、成果の重視ということではないでしょうか。これからの時代はその事業によって出来上がったものが、どういうふう具体的に国民の役に立つのかということが求められる時代だと思います。また、出来上がった施設がどういう効果を発揮しどのように地域に貢献するか、という事も具体的に問われますし、またそういうことを継続的にフォローしていくことがますます重要になってきていると思います。

もう一つは、説明責任ということの重要性が非常に増しているということです。私達が「行政」としてどういう事を考えどういう事をやっていくか、という事の情報公開・データの開示などが非常に強く求められます。またそれを国民に説明していくという時に、分かりやすい説明をする表現能力ということも強く求められていると思います。先ほど「さくら湖だより」などこちらの広報パンフレットなどを見せていただきましたが、非常に分かりやすく見やすい良いものを作っていると思いました。

このダムは治水・利水そして地域づくり、また水質管理という要請などもあると思います。そういった地域の方々からの多くの期待に応えていかれるべく、皆さん方が今後ともお体に気をつけ一層活躍下さることをお祈りいたしまして、簡単ですがご挨拶とさせていただきます。



さくら湖周辺の自然環境について語ろう

「さくら湖自然環境フォーラム2003」が開催されます

11月7日（金）～8日（土）に「さくら湖自然環境フォーラム2003」が、さくら湖自然観察ステーションで開催されます。

このフォーラムは、さくら湖の自然環境保全の方向性を見出す目的で平成12年から開催しています。

第4回目の今回は「さくら湖流域圏としての水環境のありかた」をテーマに皆様から広くご意見を賜り、さくら湖周辺の自然環境保全と地域の活性化を図る目的で開催いたします。

1日目は、地元の小・中学生のさくら湖周辺に関する研究発表や「流域の環境と子供達」につい

てのパネルディスカッション、2日目は国土交通省顧問の青山俊樹氏による基調講演や、各種専門機関による研究発表が行われ、「地域の交流と流域の環境」をテーマとしたパネルディスカッションが行われる予定です。

どなたでも自由に参加できるフォーラムですので、興味のある方はぜひご参加下さい。



来客用の区画線の見直しについて

昨年度末に三春ダムを訪れた体の不自由な方をご家族にお持ちの方から、一通の手紙が届きました。

その手紙の内容は、駐車場の体の不自由な方用のスペースが資料館から遠く離れた所に設置されており、大変不便な思いをしたので設置位置の再検討をしてほしいとの内容でした。そこで当管理所では、駐車スペースの一部見直しを行うことにしました。

見直しとしては、体の不自由な方用の駐車スペースを資料館に最も近い箇所に新たに設ける事と、大型車駐車方法を検討し表示等の変更を行いました。

しかし、体の不自由な方の駐車スペース及び大型車のスペースが資料館に近い所に設置されている事から、歩くのが面倒な健常者の方が駐車する事が懸念されます。



体の不自由な方用の路面表示や大型車用の路面表示も行っていますので、限られたスペースとして皆様の誠意ある御協力を宜しく御願いたします。

よろしくおねがいします。



シリーズ 「私のふるさと紹介」

私の古里は岩手県の宮古市です。と言っても私の父親は転勤族であったため、宮古で生まれ育った訳ではなく東北地方を転々としていました。今回、古里に宮古を選んだのは住んでいた期間が中学3年から高校卒業までの4年間と最も長く、多感な青春時代を過ごしたからです。その宮古市についてちょっと紹介してみたいと思います。

宮古市といえば陸中海岸国立公園の浄土ヶ浜が有名です。名前の由来は昔、お坊さんが浄土ヶ浜を見て「極楽浄土のようだ」と言ったためといわれており、その風景は本当に素晴らしく、眺めていると自分の悩みなんてちっぽけなものだと感じます。あの風景はまさに「極楽浄土」とよぶにふさわしいと思います。また、宮古はリアス式海岸ということで「やませ」でも有名です。みなさんも中学校の時に地理で習ったと思いますが、やませは主に夏に発生する太平洋からの冷たい空気で、霧みたいなものです。午前中は30度を越える気温でも午後3時頃からはやませが発生し、半袖では寒いくらいになります。そのため、やませが出た時は海水浴が出来ないので寂しいですが、夏は涼しくとても過ごしやすいです。ただし、気温が下がる分、あまり農作物の発育は良くないような話も聞きます。やませも良し悪しですね。さて、地形的な紹介はこの辺にして次は食べ物

【岩手県・宮古市】の巻 電気通信係 西村 彰仁

の紹介をしたいと思います。宮古は三陸海岸ということで海の幸がおいしく、特にいくら（宮古では”はらこ”といいます）や帆立の味は格別で、宮古のものを食べたら他のものは食べられない（こんなこと言ったら怒られますが・・・）くらいです。名物といえば海鮮丼やうに丼をはじめとした丼ものですが、食べるなら宮古駅前の「蛇の目寿司」の海鮮丼（値段は2千5百円位）がお薦めです。いくらやうにはもちろん、甘エビ・帆立、マグロなど新鮮な海の幸がふんだんに盛りつけられており、とてもおいしくお腹も一杯です。お店も寿司屋ですが入りにくそうな雰囲気ではありませんので、皆さんも宮古に行った際は是非、蛇の目寿司の海鮮丼を食べてみて下さい。

以上で古里紹介を終わらせていただきます。もう分かって頂けたと思いますが、私のお薦めはなんといっても新鮮な海の幸です。宮古に行った際には浄土ヶ浜を見に行くより先に蛇の目寿司に行って海鮮丼を食べして下さい。



シリーズ さくら湖周辺をあるこう④

今回は三春ダム管理所から少し離れて、貝山多目的運動広場→さくら湖自然観察園→中郷学校→中郷コミュニティスクール「学習林」→春田大橋というコースです。

① 貝山運動広場です。

② こんな所もあります。

③ 遠くに見えるは滑津橋。

④ 道脇の崖を下りていくと・・・

⑤ 野鳥観察小屋では、色んな鳥が観察できます。

⑥ 貝山運動広場の全景。

⑦ 大きな桜の木のはず。

⑧ 昔使われていた、水力発電の水車と発電機。

⑨ 中郷学校です。

⑩ 中郷の学習林。屋根みたいのは「パーゴラ」って言います。

⑪ 春田大橋がよく見えます。

⑫ 春田大橋の展望台の入り口には三春三兄弟？がいます。

⑬ 展望台上です。遠くに管理所が見えます。

中郷コミュニティスクール学習林

中郷学校

春田大橋

さくら湖

今回のルートは散策路ではなく、貝山運動広場から春田大橋まで歩いてみようという感じです。ありがたいですが、普段車で走っている道路も歩いてみるとまた感じが違います。印象的だったのは中郷の学習林で、その存在はあまり知られていないのではないのでしょうか？入り口は少し道から引っ込んでいて、場所的に学校の施設に見えてしまいがちですが、春田大橋を眺めるには最高のスポットです。春田大橋と言えば展望台があるのを初めて知りました。

季節も良くなってきましたし、たまに歩くのもいいねって感じでした。

ミーちゃん&ハル君の ちょっとからくち 三春ダム

今年の夏は洪水調節もしなかったし、アオコも出なくて
なんだかものたりなかったな。



洪水やアオコが少なかったのは、災害や水道の
障害が起きなくてよいことなんだよ。
物足りなかったと考えちゃいけないよ！

はあはあ…でも今年は雨が多すぎて水はたまるから、
湯水はだいじょうぶだね。



確かに国内の年間平均降水量は約1,600mmで、世界平均の
2倍近くだけど、一人あたりに換算すると利用出来るのは1
年で約5,000m³で、そんなに多いわけじゃないんだ。世界平
均の4分の1程度だよ。降水量のほとんどは梅雨期や台風期
に集中していて、急峻な河川を一気に流れていくので実際に
利用できる水の量はとても少ないんだ。



だからさくら湖に水を貯めておくんだね。

三春ダム流域は国内でも少雨な地域で、年間1,100mmしか
雨が降らない。でも出水時期は洪水を調節するために、貯水
位を低くしておかなければならないんだ。洪水調節があまり
いらぬこれらの時期には水をため込んで、水田などで水
が必要になる春に少しずつ放流することで、漏水の被害に備
える事になるんだ。

自然観察ステーションからのお知らせ

- 10月10日(金) 星を見る会(月と火星の観察)
- 10月12日(日) 秋の山野草観察会 “実りの秋を堪能しましょう”
- 10月18日(土) 星を見る会(星雲星団を中心に観察)
- 10月24日(金) 星を見る会(星雲星団を中心に観察)
- 10月26日(日) さくら湖の水質を調べよう

お問い合わせは、さくら湖自然観察ステーション
(Tel 0247-61-1546)へお気軽にご連絡下さい。

編集後記

近頃は、陽が落ちるのも早くなり、すっか
り秋の様相を呈してまいりました。恥ずか
しながら、「秋の陽はつるべ落とし」と言う
言葉を最近知りました。つるべとは井戸の水をくみ上げる時
に使う縄の付いた桶の事です。それだけ秋の陽は夏に比べて、
あっという間に落ちてしまうという事です。なるほど、日本
語の表現は素晴らしいと気に入り、夕陽を眺めては「うーん、
まさにつるべ落とし」と、一人悦んでいました。しかし、
つるべを実際に見たことはなく、少し寂しかった初秋でした。
(橋本)

来年の春に必要な水はこれからためるのか？！



ハル君はバーチャル・ウォーターという言葉を知
っていたかな？これは輸入している農産物
や畜産物を生産するのに必要な水の事なんだ。
日本では農産物や畜産物の多くを輸入に依存している。これ
を生産するのに必要な水は年間約400億m³になるんだ。

作物をつくるのにそんなに水をつかっているんだ？！

日本の年間使用水量は約877億m³だから、バーチャル・ウ
ォーターの量がいかに多いか分かるだろう。つまり日本では
食料輸入によって輸入元の国の水を消費し、国内の水を使用
せずに済んでいるんだ。よく日本では水が豊富だというけど、
実際は多くの国々の水の恩恵を受けて成り立っているんだ。



水を使うときは無駄遣いしないように心がけようね。

資料館からのお知らせ

資料館では、見学に訪れ
た小学校の皆さんからの
お手紙を展示しています。
展示に関するお問い合わせ
は、三春ダム管理所水
質係までご連絡下さい。



9月のダム見学

- 9月2日(火) 川俣町立川俣中学校 34名
- 9月3日(水) 郡山市立小泉小学校 11名
- 9月4日(木) 郡山市立三町目小学校 10名
- 9月4日(木) 平鹿郡十文字町植田土地改良区 22名
- 9月12日(金) 浪江町立浪江小学校 116名
- 9月17日(水) 郡山市立緑ヶ丘中学校 5名
- 9月24日(水) 郡路村立大久保小学校 6名



お手紙どうもありがとう。
ホームページもみてね。

編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供を
お待ちしております。

〒963-7722 福島県田村郡三春町大字
西方字中ノ内403-4
TEL 0247-62-3145 FAX 0247-62-3170
<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>